

勝野 眞言

① クロッキーが作品に活かされた、と感じた瞬間はありますか？

以前、いつものように実際にモデルを観察しながら、粘土制作を長時間取り組んでいましたが、なかなか上手くいかず時間切れとなったため、何枚かのクロッキーを描きとめました。その後、このクロッキーを頼りに仕事を進めて完成することができました。数分で引いた線で一月くらい仕事が出来たことに、一本の線の中にある情報の多さに驚いた事があります。

② どんなクロッキーをやってみたいですか？（素材、サイズ、時間、モデルの設定など）

時間、素材、ポーズなど、様々な変化を与えて描いてみたいと思います。また、面白いポーズがあれば、様々な角度でクロッキーし、それを立体作品にしたいとも思います。

③ クロッキーに欠かせない要素とは何だと思いますか？

短時間で対象を捉えることは、一瞬見たものを紙の上にもどう表すか。いったい自分は何をしたいかを迫られる仕事です。結果は容易には出ませんが決断と実行のなかで、失敗から学ぶ発想力を求められると思います。

④ クロッキーの醍醐味は何だと思いますか？

描く時間が短いほど大胆になれる事、また、なくてはならないところ。

⑤ どういう時にクロッキーをやりたくなりますか？

一つの作品に長い時間取り組んだいるとややもすると単調になったり、表したいことが弱くなる時があります。

自分のモノの見方を大きく振りたい時、別な視点を持ちたい時、手と頭と心をもっと近づけたい時。

⑥ 公開クロッキーを通して発見した、または再認識した事柄はありますか？

描きたい大きさと紙のサイズを選択の幅が広がりました。大きく描くことが楽しい事だとわかりました。離れてみる事がこんなに大事なこと。素材や技法が剥き出しになってくる。体力、気力、集中力の素晴らしさ。

⑦ 普段の制作の中においてこだわりを持っているポイントはありますか？

ただ目の前にあるものをよく見る。そしてそれを存在させる。実感を大切にすること。

⑧ クロッキーをする上で、こだわっているものはありますか？

特にではありませんが、描画材料では鉛筆、コンテ、木炭、アクリル絵の具、筆などいろいろと準備をし、時間の長さによって使い分けし出

す。また、炭やコンテがのり易い紙かどうかを気にします。ですが、やはり集中力が必要ですので、体調を整えることが一番です。

⑨ 逆に意外とこだわりのないものはありますか？

こだわらない様にしたいのが、モデルさん、描く時間、描画材料など、不自由なところを柔軟に対応できる努力は続けたいと思います